



TITLE:

閉会の辞

AUTHOR(S):

森澤, 眞輔

CITATION:

森澤, 眞輔. 閉会の辞. 京都大学附置研究所・センターシンポジウム: 京都からの提言-21世紀の日本を考える (第9回) 「社会と科学者」 2015, 9: 113-113

ISSUE DATE:

2015-01-21

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/194280>

RIGHT:

閉会の辞

森澤 眞輔（京都大学 iPS 細胞研究所 副所長・教授）

皆さん、本日は最後までお付き合いいただきまして、ありがとうございました。最後にお礼を申し上げます。

本日は、「21 世紀の日本を考える」と題して、この仙台の地で、私どもの大学の附置研究所・センター群の講演会を開くことができました。地元の東北大学の総長先生から歓迎の言葉をいただき、また平川先生には、話題提供の講師をお務めいただくことができました。

一般の方からたくさん参加いただきましたことに加えて、次の世代を担っていただく若い高校生の皆さんにもたくさんおいでいただきました。

本日、講師の先生方から提供されました研究成果は、私どもの大学の研究所・センターの研究のほんの一部でございます。出来ましたら、全体を見ていただくために、京都大学のホームページにアクセスしていただき、私どもの活動により一層ご注目いただき、21 世紀の日本のあり方、あるいは、日本が抱えている課題を解決するヒントを共有していただければと願っております。

本日のシンポジウムにつきましては、読売新聞社、東北大学、宮城県・仙台市の教育委員会のご支援をいただきました。心から感謝しております。

次回は来年の今ごろの季節に、広島市において開催する予定でございます。遠いので、「また広島でお目にかかることを楽しみにしております」などということは申し上げませんが、先ほど申し上げましたホームページなど、折に触れてご覧いただきますと、望外の喜びでございます。

本日は、最後までおつきあいいただきましてありがとうございました。心から御礼申し上げます。